

別記第1号様式(第7関係)

会 議 録

| | | |
|------------------|--------------|--|
| 附属機関又は 会議体の名称 | | 令和5年度 第1回教育に関する事務の点検・評価委員会 |
| 事務局(担当課) | | 庶務課 |
| 開催日時 | | 令和5年11月27日(月) 午後5時30分～午後7時30分 |
| 開催場所 | | 豊島区役所 教育委員会室(本庁舎8階) |
| 議 題 | | (1) 教育に関する事務の点検・評価の実施について (2) 令和4年度評価実施事業 取り組み状況報告 (3) 評価対象事業のヒアリング及び質疑応答 「SDGsの達成に向けた取り組み」 |
| 公開の 可否 | 会 議 | <input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 傍聴人数 0 人 |
| | | 非公開・一部非公開の場合は、その理由 |
| | 会議録 | <input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 |
| | | 非公開・一部非公開の場合は、その理由 |
| 出席者 | 委 員 (敬称略) | 美谷島 正義 福 本 みちよ 大 野 春美 |
| | その他 | 教育長、教育部長、教育施策推進担当課長、学務課長、放課後対策課長、指導課長、教育センター所長 |
| | 事務局 | 庶務課長 |

審 議 経 過

| 発 言 者 | 発 言 要 旨 |
|--|--|
| | <p>【開会】</p> <p>委員自己紹介 事務局紹介 教育長挨拶 委員長選出 委員長職務代理者の指名</p> |
| 美谷島委員長 | <p>それでは、これより議事に入らせていただきます。この委員会の初めにいつもは傍聴の確認をさせていただいておりますので、本日はどうでしょうか。</p> |
| 高橋庶務課長 | <p>本日は傍聴の方はいらっしゃいません。</p> |
| 美谷島委員長 | <p>いらっしゃらないということでございます。よろしくお願ひいたします。それでは、議事1、教育に関する事務の点検・評価の実施について、事務局より説明をお願いします。</p> |
| 石崎庶務課教育計画グループ 係長 | <p>【議事（1）教育に関する事務の点検・評価の実施についての説明】</p> |
| 美谷島委員長 | <p>はい、ありがとうございます。事務局より説明がありました。実施方法や手順についてはよろしいでしょうか。</p> <p>それでは特にありませんので、案の通りということによりお願ひいたします。</p> <p>次に、令和4年度 教育に関する事務の点検・評価後の取組状況について各課長よりご説明をいただきたいと思ひます。なお、質疑はすべての報告が終わった後にお願ひしたいと思ひます。それでは資料2から順にお願ひいたします。</p> |
| 丸山指導課長 高橋庶務課長 秋山放課後対策課長 星野学務課長・丸山指導課長 野崎教育センター所長 | <p>【議事（2）令和4年度評価実施事業 取り組み状況報告についての説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピックの機会を活かした教育の推進 ・学校施設環境改善交付金対象事業 ・放課後事業の充実 ・コロナ禍における学校生活について ・特別支援教育（インクルーシブ教育） |
| 美谷島委員長 | <p>はい、ありがとうございます。ただいまそれぞれの課長から取り組み状況の報告がありました。それでは、質問や意見について承りたいと思ひます。わかりやすいように順番にいきたくと思ひます。</p> <p>まず、オリンピック・パラリンピックの機会を活かした教育の推進については、ご質問、ご意見はございますか。</p> |
| 福本委員 | <p>ご説明ありがとうございます。昨年この評価を行ったときに、オリパラをどう受け止めてどうつなげたらよいかについて、非常に四苦八</p> |

| | |
|--------|--|
| | <p>苦しな記憶がございます。ですが、報告を聞いてだいが収斂されて学校に良い形でつなげていけているのかなと思ひました。学校が自分の学校のイメージを持てるようになってきていたことでしたが、そうなれた理由は何だと思ひますか。</p> |
| 丸山指導課長 | <p>オリンピックが終わったときに、ちょうど豊島区がSDGs 未来都市に選出され、学校の中でできることを探したときレガシーとマッチするところがありました。未来都市として地域との連携を非常に強く指導することで、自分の地域ではこういう人たちがいてこういうことができるというのを考え、また予算がついたことだと思ひます。</p> |
| 福本委員 | <p>わかりました。ありがとうございます。</p> |
| 美谷島委員長 | <p>大野委員、よろしいでしょうか。</p> |
| 大野委員 | <p>はい、大丈夫です。</p> |
| 美谷島委員長 | <p>教育課程への指導、助言も含めて、終わったら終わりではなく今後も継続的にいろいろ生かしていただければと思ひます。 続いて、学校施設環境改善交付金対象事業について、ご質問等ございますか。 きれいな学校でしたね。</p> |
| 福本委員 | <p>そうですね。全部がそういう学校になったらいいと思ひます。 効率性のところで、毎年調査をやっているということでしたが、いろいろな希望が出ると思ひます。それに対して全部応えられるということはないと思ひますが、採用できなかったものに対してはどうしているのでしょうか。</p> |
| 美谷島委員長 | <p>担当課長が不在なので、庶務課長がわかる範囲でお願いします。</p> |
| 高橋庶務課長 | <p>各学校から上がってきた要望について、学校施設課で優先順位をつけてできるものからやっております。</p> |
| 福本委員 | <p>届いた声はストックしていただけているということでしょうか。</p> |
| 高橋庶務課長 | <p>そうですね。</p> |
| 福本委員 | <p>ありがとうございます。</p> |
| 美谷島委員長 | <p>大野委員、よろしいでしょうか。</p> |
| 大野委員 | <p>池一小で防災倉庫を見せていただけなかったのが残念でした。大型地震もくると言われているので、地域の防災拠点としてできれば、西巣鴨小学校では見せていただければありがたいです。</p> |
| 高橋庶務課長 | <p>調整いたします。</p> |
| 美谷島委員長 | <p>よろしく願ひいたします。 それでは続きまして、放課後事業の充実について、ご意見、ご質問はございますか。</p> |

| | |
|-----------|--|
| | <p>特に大きな事故やけがはなかったのでしょうか。届いていなければないってことですよね。</p> |
| 金子教育長 | <p>私の記憶では、コロナ明け直後ぐらいに鉄棒から落ちる子が多くて、珍しく比較的大きなけがだなと思っていました。原因を探り対処をしましたが、その後は特にはないと思います。</p> |
| 秋山放課後対策課長 | <p>顔より上のけがの報告をもらうようにしております。</p> |
| 金子教育長 | <p>今言われて少し減ってきたかな、体力が戻ってきたのかなと思います。1年ぐらい前はとにかく転んでいて、走っていないのかなというのがわかるようなけがが多かったと思います。</p> |
| 美谷島委員長 | <p>安全に関してはよろしく願いいたします。 限られた予算の中で、区立図書館との連携は非常に良いことだと思います。例えば学校や放課後事業のスキップなどが区立図書館にネットワーク便を月曜日に頼むといつ頃届くのでしょうか。</p> |
| 秋山放課後対策課長 | <p>ネットワーク便は月に1回です。</p> |
| 美谷島委員長 | <p>計画的にまとめて頼まないといけないですね。 よろしいですか。 では続きまして、コロナ禍における学校生活について、学務課と指導課の担当課が答えてください。 どうでしょうか。</p> |
| 福本委員 | <p>2点ございます。 1点は効率性のところで、ニーズ把握のため状況を確認していることでしたが、子どもの感染ではなく教員の感染や後遺症で業務に支障が出て困っているというような声は聞こえていますでしょうか。 もう1点は、タブレットを活用し外部へ繋ぐことができ、また相談窓口としても非常に有効に活用されていてとても良いなと思いました。一方、子どもの悩みや困りごとを知ってしまうと、その後の情報共有や対応方法について検討する必要があると思います。一番怖いのは、実は知っていたけれど、何のアクションも取らずに問題が埋もれていたということだと思います。知ってしまうことで対応する必要が出てくることもあると思いますので、そういう手順が学校で徹底されると良いと思いますが、それに関して何か情報をお持ちでしたら教えていただければと思います。</p> |
| 美谷島委員長 | <p>併せて、先程指導課長からあったアシスとしまは区長部局にあると思いますが、そこからどうやって情報が共有されるのかについても教えていただきたいと思います。</p> |
| 丸山指導課長 | <p>教員のコロナの感染については、コロナの後遺症をもって異動してきた先生はいました。まっすぐ歩けないので、時差勤務をして駅の混雑を回避したという例は聞いております。豊島区で感染したのではなく、前の区で観戦して異動してきたようです。ほかの先生もとにかく子供に移さないように、もし感染したときにはしっかりお休みをとるようにしております。また、リモートでの仕事はなかなかないですが、家族が罹患したときに自分は元気なので、他の先生が授業している様子をリモート</p> |

| | |
|------------|---|
| | <p>で見たりしているようでした。大きく後遺症が残った例はないです。</p> <p>I C Tの活用において知った情報をどうするかについては、先生はとてもまじめで責任感があるので、自分でどうにかしなければと思っていましたが、I C Tの活用により、アシスとしまからいろいろな関連機関に繋ぐことができ、またいじめのような学校に起因することについては戻ってくるようになりました。その場合にはもちろん子供には内緒で、指導主事が窓口になって学校や家庭の様子をうかがっています。悩みなどアンケートで知ったことについては、先生がどこにどんな相談ができるのかわかるように、連携フレームというシステムをデジタルでつくりました。これは、外部との連携の一覧表、例えば児童相談所はこういうところでいつこういう相談ができるというものです。不登校やいじめ対策のためにつくりました。それだけではなく、知った情報を教員がどこに連携すればよいか確認するためにも利用できるの、広めていかなければならないと思っております。</p> |
| 美谷島委員長 | <p>指導課と福祉で対応しなければならないものについて、コーディネータはアシスとしまでやるということですよ。そこで受けたものは、収束までもっていくのか、その進行管理はどういうふうにやっているのでしょうか。</p> |
| 丸山指導課長 | <p>アシスとしまが受けたものに関してはアシスとしま、相談を受けたのが担任であれば学校、というように受けたところがまず責任を持つことになっております。もちろん大きな内容ならば児童相談所に情報を渡すことにはなりますが、そうするとそこで終わりで学校が何もしないと苦情が来ることもあります。どちらが重きを置くのか連絡を取りながらやっておりますが、なかなか難しく課題にもなっております。</p> |
| 美谷島委員長 | <p>そこが円滑に行くことが大事だと思います。</p> |
| 福本委員 | <p>いろいろ利用できるものが増えるほど、コーディネートしていく機能がないと分散してしまうと思います。少なくとも連携フレームが学校の中で利用できるということを教員が理解しており、子どもがいろいろなところで相談でき、それをどう情報共有するのかということがコーディネートできていないと分散して終わってしまうと思います。</p> |
| 丸山指導課長 | <p>S S Wがもともとそういう役割を担うと思うので、学校はS S Wと週に1回会議を行い外部に情報をつなげた場合にはそこで情報共有をしています。また、学校でもどうしてもならないことは直接S S Wからつなげてもらうこともあり、コーディネートという観点ではS S Wも活用しております。</p> |
| 美谷島委員長 | <p>S S Wは区の教育センターに籍を置いているのですか。</p> |
| 野崎教育センター所長 | <p>そうです。</p> |
| 美谷島委員長 | <p>何人ぐらいいますか。</p> |
| 野崎教育センター所長 | <p>現在8名おります。</p> |

| | |
|------------|---|
| 美谷島委員長 | 都のスクールカウンセラーは週1回来ると思います。以前も聞いたかもしれませんが、区のスクールカウンセラーもいるのですか。 |
| 丸山指導課長 | いないです。 |
| 美谷島委員長 | S S Wは環境整備ですよ。 |
| 野崎教育センター所長 | 本来はそうですが、昨年10月から都の人員を活用して学校巡回型支援をはじめました。週に1回必ずS S Wが全校を巡回し、子どもを観察したり教職員と打ち合わせをしたりして、早期発見、早期対応できるようにしております。 |
| 美谷島委員長 | 豊島区のS S Wの資格要件はどうなっておりますか。 |
| 野崎教育センター所長 | 社会福祉士もしくは、精神保健福祉士です。 |
| 美谷島委員長 | だいたいそうですよね。 大野委員、よろしいでしょうか。 |
| 大野委員 | I C Tの活用において、デジタル教科書はどれくらい前からやっているのでしょうか。 |
| 丸山指導課長 | デジタル教科書は今年度で2年目です。文部科学省から検証事業として、昨年度から小学校5年生から中学校3年生までの英語がすべての学校に入っております。昨年度は国の予算と区の予算を半分ずつ出して算数、数学も検証しました。英語に関しては音声や繰り替えしが非常に有用ですし、今年度も同様に国から検証ということで入っております。算数は賛否両論あります。1年目の検証で分かったことは、視覚的な平面や立体の図形、速さと速度などについては非常に有用ですが、計算には全然利用できず、児童生徒用のデジタル教科書より教員の指導書がデジタルになるとよいという意見もありました。そこで、今年度は国の予算で算数、数学を半分ぐらいの学校に入れております。良かったと言っている学校が継続して利用しており、区は今年度手を引いております。来年度に関しては、そろそろわかると思うので、教員用のデジタル指導書を入れたほうが良いのか、子どものデジタル教科書を入れたほうが良いのか決めていかなければいけないと思います。英語はとても良いと思っております。 |
| 金子教育長 | それは正式な教科書ではないですよ。実証実験ですよ。 |
| 丸山指導課長 | そうです。今年度は教科書選定がありましたので、来年度小学校は新しい教科書になります。国としてどうするのかはわかりかねますが、選定した教科書に対応したデジタル教科書になります。国としての検証の見通しはまだですが、区として英語はとても有用で、他の教科はいろいろな意見があるなと思います。 |
| 大野委員 | それは各区によって決めるということでしょうか。 |
| 丸山指導課長 | 本区は国の検証に頼っているところが大きいですが、区によってはすべての教科を入れているところもあると聞いています。また、主要5教 |

| | |
|--------------|---|
| | <p>科に絞って入れているところもありますが、使い方はまだ検証レベルで使わなければいけないから使うということもあると聞いておりますので、豊島区はスロースタートですが確実に使えるところと、何が子どもにとって良いのかというのを検討しております。</p> |
| 大野委員 | <p>他区から豊島区にきた先生は、デジタル教科書があってやりやすいと言っている方もいます。何が良いかはわかりませんが、子どもはもちろん、先生の負担が少しでも改善されるのであれば価値があるのではないかと思います。</p> |
| 美谷島委員長 | <p>働き方改革にもかかわってきますよね。 それでは、特別支援教育について、ご質問やご意見はございますか。</p> |
| 福本委員 | <p>質問ではないのですが、日野市の取り組みはご存じですか。この間の研修は出られましたか。</p> |
| 丸山指導課長 | <p>出ておりません。</p> |
| 福本委員 | <p>日野市が特別支援教育の取り組みを報告したと聞いたので、沖縄からも視察に来たようで学べるところがたくさんあるのかなと思います。</p> |
| 丸山指導課長 | <p>インクルーシブに関しては、日野市と豊島区が東京都の実践校です。東京都では豊島区の統括が発表しましたが大々的なものではなかったと思います。日野市はおそらく、大々的にやっていて視察などもあったようです。日野市はそれ以前から本なども出しており先進的です。交流に関しては非常に盛んでいろいろな教科でやっておりますが、協同学習を教科に入れ込むということについては、豊島区の要小学校在りながら一歩踏み込んで提案できたと思います。ただ、それが正解ではありませんが、一緒にやらせていただいております。</p> |
| 福本委員 | <p>ありがとうございます。</p> |
| 美谷島委員長 | <p>よろしいでしょうか。 特別支援教育もそうですし、先程のコロナ禍における学校生活についてもそうですが、人材を集めるということでハローワークにも入っているということですが、広げるほど集めやすくなると思いますが、その人の適正の問題があります。必ずしも人数がいれば良いというわけでもないもので、しっかり選考したほうが良いと思います。例えば、SSWも保有資格は必要ですが、学校のことを全く知らないと学校に迷惑がかかるし非常に困ると思いますので、選考については慎重にやったほうが良いと思います。 それでは全体を通して、今のご説明の中でご質問はございますか。よろしいでしょうか。 それでは続いて、議事3審議事項の評価対象事業についてご説明をお願いします。</p> |
| 後閑教育施策推進担当課長 | <p>【議事（3）評価対象事業のヒアリング及び質疑応答についての説明】</p> |
| 美谷島委員長 | <p>ありがとうございました。 それでは審議に移りますが、まず質問や要望はございますか。</p> |

| | |
|---------------------|---|
| <p>後閑教育施策推進担当課長</p> | <p>読み切れないので 2 段でも良いので指標をもう少し大きな字にしていたきたいと思います。</p> |
| <p>福本委員</p> | <p>承知しました。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>ご説明の中で何度もおっしゃっていた一過性のもので終わらせないというのが一番大きいと思います。SDGs は反対する人は絶対いないし、聞こえもいいですが、予算やアシストがあるときはよいですが、本来はそういうものがなくても当たり前のもので動いていなければいけないと思います。先ほどの資料でも、立ち上げ期では教育委員会が学校にバックアップをして軌道に乗せているようでした。予算もつかず、施策として SDGs を大きく旗揚げすることもないけれど、当たり前のようにやらないと、1 億円以上のお金を使った意味がないと思います。ではどうしたらよいのか、答えがないようなテーマかなと思います。ただ、施策として立ち上げた以上は答えがないではだめだと思うので、次につなげていくうえで実績も踏まえて教育委員会としての方針を示さないと学校は終わったねとなってしまいます。SDGs 未来都市というのを掲げているわけなので、教育という世界だけにとどめていると学校はやらないといけなくなってしまうのですが、豊島区はそうではないですよ。学校や教育の範疇に限っていると終わってしまうと思います。なので、希望としては 3 年の実績を踏まえて、教育委員会として今後学校にどのようにしてほしいのか、明確なメッセージを示していただけるとありがたいなと思いました。</p> |
| <p>後閑教育施策推進担当課長</p> | <p>ありがとうございます。確かに 30 万の予算がついて進めていけているというところがありますが、これがなくなっても続けていかなければならないと思っております。そうすると学校単体ではどうしてもマンパワーが足りないので、地域の方と協同するなどして体制の構築を進めていく必要があると認識しております。実際、先程千早の例をあげましたが、大塚の都電のバラの清掃を地域の方と一緒にやるなど、好事例を各学校にも発信して持続可能な取り組みになるようにしていきたいと思っています。また、教育委員会とは別に SDGs 推進課があり、そこではたくさんの企業とのつながりもあるので、その課とも連携して様々な視点から継続したいと思っております。</p> |
| <p>金子教育長</p> | <p>未来都市は内閣府の認証です。豊島区は東京都で一番早く取り、現在ほかの区も追いかけております。それをとったからと言ってお金がたくさん入るわけではありません。しかし、前区長が頑張ってお金をたくさん入れたわけではなく、環境教育にそんなに力を入れていたわけではないですが、消滅可能性都市といわれていたので、その危機感から豊島区をどう持続可能な社会にしていくか考えたからです。みんなで何をすればいいか考えていくうちに、申請をしたらいろいろな取り組みが評価されてモデル都市となりました。区全体をどうするのかという SDGs の担当課はあります。大人が頑張っても忘れてしまうかもしれないし、子どもが地域を支えてくれないといずれ豊島区は消滅するだろうと思います。そこで、私自身 30 校回り、校長先生にどうしてやらなければならないのかについてお話をしました。当然教育課程の中に持続可能な社会について教えてほしいというのは入っておりますが、SDGs というものを掲げて大々的にやらなければならないとは書いていないので、なぜ豊島区ではやらなければ</p> |

ばいけないのか、それは先生が他区からくる前に豊島区は消滅していたかもしれないからというお話をして、それは困るので町の方も必死になんとかしようとしていて、大人が頑張るといところがもちろん大きいですが、いずれ大人たちと一緒にこの地域を守ってほしいという気持ちを子どもにも教えてほしいと伝えました。一方、先生はとても大変だと思います。以前自分が職員のころビオトープを作りました。熱心な先生がいて、その時はとても盛り上がりました。いろいろなメディアにも出ましたが、異動したあとすぐなくなってしまいました。そういう経験も十分してきたので、これは先生だよりではいけないなと感じました。むしろ地域の方は代々住んでいる方が多く、ビオトープが残っているところも地域の監視人の方がいてずっと面倒を見てくれている、中には授業もやってくさる、こういう形ではないと持続しないということが良く分かりました。なので、お金をたくさんもらったから何かやりなさいではなく、そういう使い方をしてくださいと伝えました。使えばいいんでしょということですぐ池を作ろうということもありましたが、今は熱心な先生がいるかもしれませんが今後も続けられますかと、むしろ地域の方やPTAの方がずっとつないでくださることを大事にしましょうと。そのためのアドバイザー派遣などにお金を使ってほしいと伝えました。お金さえあれば池はいつでも作れます。環境教育だけではないので、17の中で共生であれば、特支の子たちと叩ける太鼓を買いたいとか、車いすバスケットができるようなものを買いたいとか。いずれにしても教える先生がいなくなってしまうと終わってしまうものは避けてほしいと。色々聞くと、千早の畑部は昔からやっていたようですが、それが一番大事であり、認証を与えてさらにちょっとしたお金でよりよくなるようにというようなことがほとんどでした。そこで改めて畑を作ったり、小型のトラクターがあると良いということを買ったりして進めました。

始めるときは私から学校にお話しして進めていますし、今後もそのことは大事にして、絶対に学校の先生だけに負荷をかけるような進め方はしたくないと申し上げてここまで来ております。またありがたいのは、そんなに期待していなかったPTAの方々が、子どもがいろいろというので、阿部先生に頼んで研修をやってもらいました。そういう方々が跡を継いでくれて、大人たちがつながってくれて子どもの面倒を見てくれるようになるといいなと思っております。今お話したことを明確なメッセージとして残るようにしないといけないなと感じました。

大野委員

金子教育長のおっしゃった通り、富士見台小学校ではコロナ前はビオトープにとっても力を入れていましたが、校長先生が変わってなくなってしまいました。ただ、子どもからビオトープを復活させたいという声は出始めておりますので、SDGsの取り組みに発展するのではないかと考えております。今回1億円の予算をいただき、富士見台小学校ではタイトルが「育てよう心きたえよう身体安全・安心な学校づくり」ということで、富士見台小学校の卒業生である東京都の理学療法士の男の子と連携して富士見台の歌に理学トレーニングを合わせました。またISSの取り組みにも連携しており、体を鍛えようということで、予算を使いボルダリングができるようにしてもらいました。そして普段の生活では鍛えられない筋肉や大幹などが鍛えられ、子どもたちも大変喜んでおりました。先ほど福本委員もおっしゃったように、これからも継続ということで、せっかく各学校特色のある良い取り組みがあるので、レガシーから発展をしてSDGsの取り組みにも前進していければと思います。

後閑教育施策推進担

富士見台のビオトープは復活させたいという気持ちがあり、SDDsとは

| | |
|--------------|---|
| 当課長 | 別に東京都の補助金も活用したいとのことですので、他の補助金とも絡めてバックアップしたいと思っております。 |
| 大野委員 | ぜひお願いします。ヒョウタンの形は子どもが応募して、6年生が朝登校して穴を掘って形にしたところを、ライオンズクラブにご支援ただいて作り上げたものなので、復活したら子供たちも喜ぶと思います。 |
| 後閑教育施策推進担当課長 | 子どものアイデアも入れながら進めていきたいと思えます。 |
| 金子教育長 | これまでのいろいろな経緯は承知しておりますので、ライオンズさんや地域の方にも詳しい方が丁寧に説明しております。学校側も準備はしておりますので、着実に進めていきます。 |
| 美谷島委員長 | <p>よろしいでしょうか。</p> <p>事業の目的の中で、未来を担う子供たち、担い手づくりというのがありますが、福本委員からもお話があったように、SDGsの17の目標はいつやってもよいことで、特化するものはなく教育の中ではすべて大事だと思います。そこで、担い手と考えたときに豊島区の小中学生が将来こんな風になろうと考えると、17の目標の中の位置づけ、例えば仰高小学校であれば17のうちのどれかというのが欲しいと思えます。それがないと読まないとわからないので、環境とか、健康とか、ジェンダーとかを提示してそれが学校の特色につながるようにしていくことが大事だと思います。先ほど教育長からもあった通り、中学校の部活を見ればわかりますが有名な人が来ると強くなって、異動したら弱くなってしまいます。同じように、地域の人はずっといるので関わっていくことが重要だと思います。そういった面で、見出しとか、最終的には指導課かもしれませんが教育課程との位置づけ、総合なのか行事なのか、それはなんでも良いと思えますが、SDGsの中でこの学校はこれが特色であるということを出していくのは負担にはならないのではないかと思います。そういう分析シートを書いていただければと思えます。</p> |
| 後閑教育施策推進担当課長 | 各校の取り組みをまとめて地域の皆さんにも配布し見ていただいております。17の取り組みとの紐づけは大事であると思えますので、今後表に出す時にはそれを入れて作成したいと思えます。 |
| 金子教育長 | 学校ごとには意識しているので、入れるだけだと思います。 |
| 後閑教育施策推進担当課長 | 別の資料にはあるので入れます。 |
| 丸山指導課長 | オリパラ、レガシー、SDGsといったカテゴリで考えるのではなく、将来的には特色のある教育の一つとして永続的に位置づいていくのが良いと思えます。教育課程の位置づけとしても、ビオトープであれば、低学年は生活かもしれないし、高学年は総合かもしれないし、それぞれの学年の学習内容に合わせて先生も年間計画を立てております。 |
| 美谷島委員長 | <p>ありがとうございます。よろしいでしょうか。</p> <p>今日いろいろな意見が出されましたが、評価については後ほど全体でまとめて出したいと思えます。</p> <p>それでは、本日の審議は終了いたします。事務局から連絡があればお</p> |

| | |
|--|---|
| <p>石崎庶務課教育計画 グループ 係長</p> <p>高橋庶務課長</p> | <p>願いたします。</p> <p>次回の日程について説明</p> <p>それでは本日はありがとうございました。これで、第 1 回教育に関する事務の点検・評価委員会を終了させていただきます。</p> <p>—閉会—</p> |
|--|---|

| | |
|-----------------|--|
| <p>提出された資料等</p> | <p>【資料1】教育に関する事務の点検・評価の実施について</p> <p>【資料1(別紙1)】令和5年度教育に関する事務の点検 事業分析シート(様式)</p> <p>【資料1(別紙2)】令和5年度教育に関する事務の点検 評価票(様式)</p> <p>【資料2】令和4年度評価実施事業 取り組み状況報告</p> <p>【資料3】令和5年度教育に関する事務の点検 事業分析シート「SDGsの達成に向けた取り組み」</p> <p>【資料3(別紙1)】SDGs 達成の担い手育成事業 各学校の取組</p> <p>【資料3(別紙2)】SDGs の取組 令和 3 年度～5 年度</p> <p>【参考資料1】教育に関する事務の点検・評価委員会設置要綱</p> <p>【参考資料2】教育に関する事務の点検・評価実施要綱</p> |
|-----------------|--|